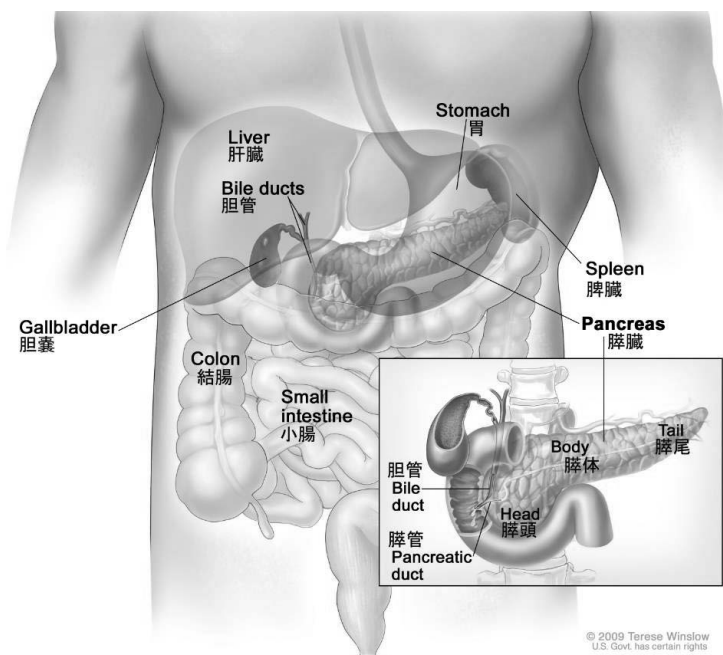


膵臓がん早期診断プロジェクト

なぜ、いま膵臓に着目するのか？



(図1) 膵臓の解剖と位置関係

膵臓は食事を分解する消化酵素液をだす臓器です。

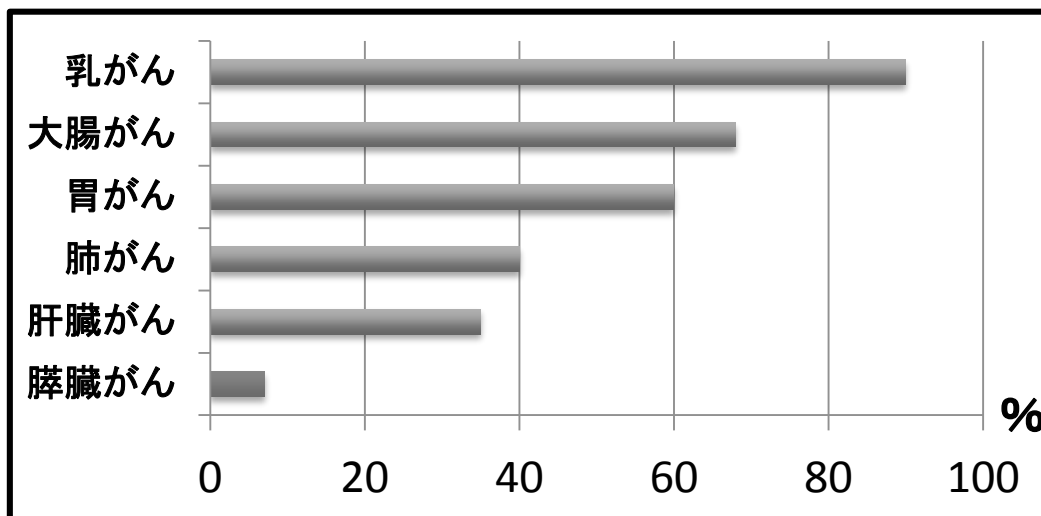
膵臓から発生する膵臓がんは、他のがんとくらべて、早期発見がとても難しく、5年生存率がよくありません。

5年生存率を上げるためには“手術ができる小さな膵臓がんをいかに早期に見つけるか。”がとても重要となります。

そのためには、日頃から定期的な採血検査や画像検査をしておく必要があります。

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女合計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

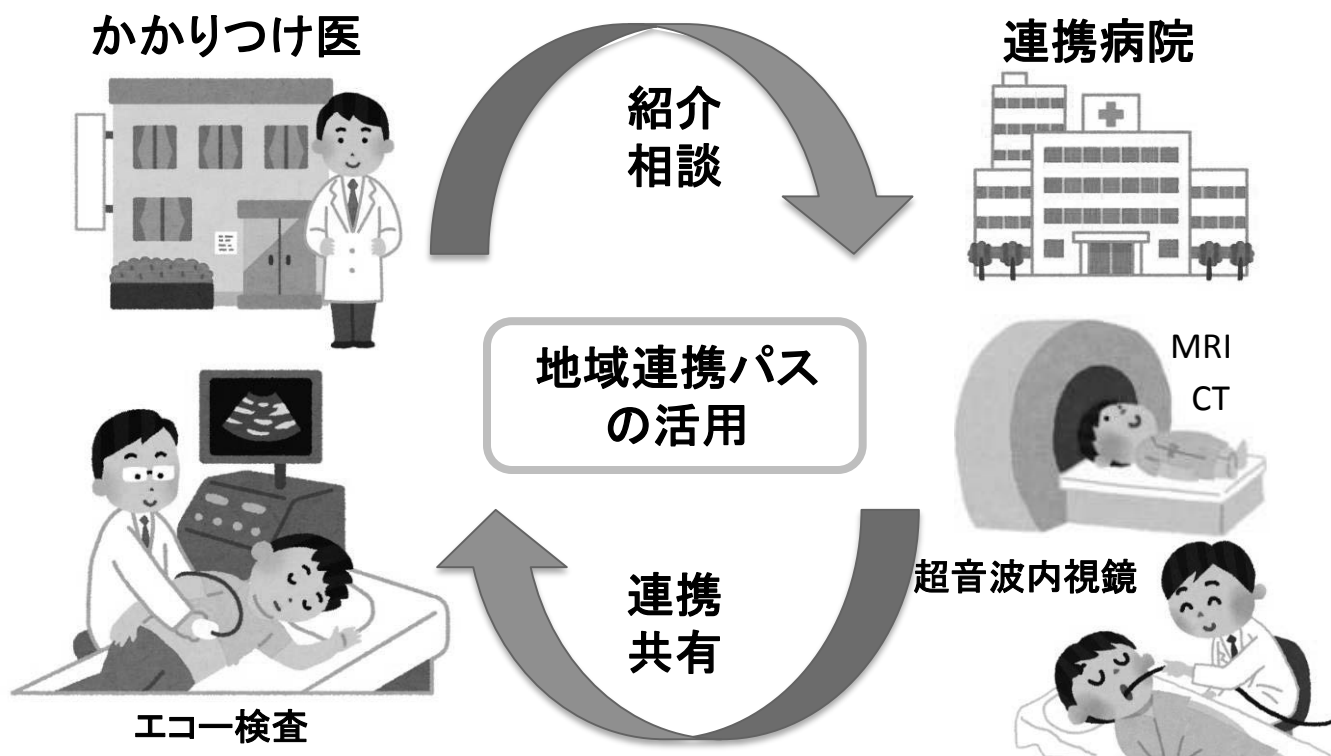
(表1) 人口動態統計によるがん死亡データ



(表2) 5大がんと膵臓がんの5年生存率

小さな膵臓がんを見逃さないために

帯広市医師会は膵臓がん早期発見プロジェクトを開始しました



現在帯広市医師会は早期膵臓がん発見プロジェクトを展開し、帯広医療圏における膵臓がんの予後向上を目指した積極的な取り組みを行っております。

気になる症状を遠慮なくかかりつけ医に相談していただきますと、帯広市内の連携病院と画像検査や採血検査を中心に定期的なフォローアップを実施しております。

遠慮なく皆様方の先生におたずねください

連携病院

帯広厚生病院

帯広協会病院

帯広第一病院

北斗病院

出典・リンク

がん情報サイト <http://cancerinfo.tri-kobe.org/>

国立がん研究センター がん情報サービス <http://ganjoho.jp>

日本膵臓学会 <http://www.suizou.org/>

日本膵臓学会 膵癌登録20年間の総括

イラスト <http://www.irasutoya.com/>